

2025.7.30

2024.1 直接死228人→ 2025.10 震災関連死 444 人

「津波避難」と能登半島地震からなにを学ぶか。

津波警報による「踏切遮断問題」

7月30日カムチャツカ沖地震による津波警報で、藤沢市内でも緊急停車した電車の駅への移動などで一時的な踏切遮断がありました。

湘南海岸公園駅では10分程度の遮断で海岸方面に車の渋滞が発生したことが周辺の方々からの証言で判明。

市の災害対策課に各鉄道事業者への当時の状況確認を依頼。各鉄道会社の報告から見えてきた課題を市議会で追究しました。以下要点。

9月22日一般質問

原田 片瀬地区の当日の避難者は1175人とのことだが、避難先は？片瀬中には車による避難はあったのか？

防災安全部長 片瀬小169人、片瀬中280人、湘南白百合学園小200人・・・ほかに片瀬海岸3丁目津波避難タワーに約160人・・・片瀬中の車両避難による駐車はさせておらず、地震・津波発生時の避難については、家屋の倒壊、落下物、道路の損傷、渋滞・交通事故等が発生するおそれがあることから、徒歩によることを原則として、車両による避難は実施しないものと案内しています。

原田 原則車両による避難は実施しないとされるが避難行動要支援者は車での避難が可能なのか？

防災安全部長 避難行動要支援者の災害時の避難については、車両による避難も可能であると案内しております。

原田 片瀬地区の要支援者数と個別避難計画の策定状況は？

防災安全部長 片瀬地区は名簿として2344人。モデル地区から取組を始め、昨年度から全地区での策定進めているところです。

9月26日本会議決算質問

原田 全市の要支援者数と個別避難計画の策定状況は？車両で避難するのに踏切遮断時にこじ開けられないとすればどうするのか。個別避難計画はどうなっているのか？

防災安全部長 現在提出されている避難行動要支援者数（15881人）のうち策定した355件には車両による避難計画はないが、今後は車両で踏切を渡る避難経路や避難の実効性に疑義のある計画が提出された場合には、自治会町内会等関係者と協議してまいります。

災害関連死防ぐ DWAT 活用と地域コミュニティ再生を

10月1日に能登半島地震による災害関連死が444人と増えて死者全体で672人になったと発表がありました。

10月8日 本会議決算討論要旨

厚労省は、福祉専門職等で組織する災害派遣福祉チームDWATの活動に関する指針を改訂して、避難所中心の場所支援から車中泊や在宅避難を対象に加え人の支援へ転換。神奈川県でも地域福祉課内で災害福祉グループが新設された。

今後県DWATとの災害訓練を想定したら、要支援者の個別避難計画の策定を進めていかなければなりませんし、計画に基づいて避難経路の検討、踏切遮断時の対応などの構築には市における災害福祉チームが必要ではないか。

そのベースには普段からの地域包括ケアシステムの再構築が急務。それには小地域ごとのコミュニティ再生が必要であり、いじめや不登校など追詰められた際の休息など子どもの居場所づくりも高齢者や障害者、在住外国人等までござれど誰もが困りごとを吐露できて必要な支援に繋がる「地域の縁側」のアップデートも求められる。これらを自治会町内会の再生と統一的に進める市民センターの役割。それは学校での人材不足を補うことに留まらず教育委員会と市長部局間で子どもの課題解決へ共創的な役割が必要。

アクティブ藤沢ニュース 2025.10

まともな政治登場に待ったナシ！

「大義なき」静岡県伊東市議選10月19日投開票

10月12日、静岡県伊東市の市議会議員選挙で犬飼このり候補の応援に遠征してきました。

学歴詐称の疑いに端を発して市議会の全会一致で不信任決議を受けた市長が、市長選で審判を仰ぐというならまだしも、議会を解散するという「大義なき」市議選が10/19 投開票されます。

現地に入って驚いたのは、全会一致で不信任だったはずなのに前職の中にステルス市長派が3人いるという情勢！？その中の一人は公然と市長を応援する共産党の前職だというのです。

もはやメガソーラー建設計画は頓挫して収束していることを予定地に入って犬飼候補に説明をしてもらいましたが、公式の場では一切の説明責任を果たさずに、ご都合で憶測やデマを流布する行為はどう見てもアウトです。

セクハラ問題の沖縄県南城市長も同様に議会解散の暴挙に出たようですが大統領並みの権限を持つ首長が保身のためにその権力を行使することが当たり前になるようだと地方自治は大変危いことになります。

先の参議院選挙と共に通しているのは、これまでの既成政党への怒りや変えたい！という渴望が、より危険な権力を登場させ得る土壌となっていることです。

困窮する国民生活を放置して、政局ばかりの国政や保身で権力行使する首長あまたの危うさ。まともな政治の登場に待ったナシです。（10/13記）

7/20参院選で神奈川県全域を駆け回りました。

いまの自民党政権に対してはもちろんのこと、既存の政党に対する強い不満が示された選挙結果でした。その中で、特に経済政策を巡って最後に動いた層は、れいわと参政党で迷っていたと報じられていましたが、今回そこでれいわ新選組は勝ち切れませんでした。

私は、神奈川選挙区でれいわ新選組三好りょう候補の応援に県内を駆け回ましたが、ここでも力不足でした。

ただ、比例区において伊勢崎賢治さんを特定枠で当選させて国会に送り出したことは重要な意義がありますし、次の衆議院選挙ではより力強い結果を出さなければならないと感じています。



おもな地震災害の直接死と関連死

※被災からの集計時点は異なります。	直接死（人）	関連死（人）
阪神大震災	5483	919
新潟中越地震	17	51
東日本大震災 (行方不明)	15895 2539	3647
熊本地震	55	202
能登半島地震 (2025.10 現在)	228	444

藤沢市議・NPO共同代表／元市議 ▼ご相談・ボランティア連絡先

原田 タケル トモコ 事務所

片瀬1-4-9 (2F) 携帯 090-5449-1160

<https://www.takeru.website/>
メール pu4t-hrd@asahi-net.or.jp

